

今回9名が質問し、
その要約を掲載しました。

片岡 藏之 議員 …………… 11

1. 施政方針について
2. 本町の農産物について

関 誠一郎 議員 …………… 12

1. 社会福祉法人の漏水経緯
2. 介護保険事業（還付金）
3. 訴訟等について町の対応は

藤 咲 芙美子 議員 …………… 13

1. おくやみ専用窓口の設置について
2. 補聴器購入に補助を
3. 放課後児童デイサービスについて

猿 田 正 純 議員 …………… 14

1. 消防団関係について
2. 決算審査意見書の扱いは
3. 都市計画について

桜 井 和 子 議員 …………… 15

1. 带状疱疹の予防について
2. ゴミ袋の改善について
3. トイレの設置について

加藤木 直 議員 …………… 16

1. コロナ対策事業について
2. 本町の財政について
3. 七会光ファイバ網設備更新について

高 橋 裕 子 議員 …………… 17

1. コロナウイルスへの対応について
2. 野良猫について

綿 引 静 男 議員 …………… 18

1. 町の財政状況について

三 村 孝 信 議員 …………… 19

1. 選挙・投票率について
2. 開発公社・(株)桂ふるさと振興センター
(株)物産センター山桜について
3. 施政方針について

☐次ページからの、顔写真下のQRコードを
スマートフォンなどで読み込むと、一般質問
時の動画が視聴できます。



一般質問

町政を問う

🌸「町政を問う」の掲載
記事は、質問者本人の
寄稿によるものです。



かた おか くら ゆき
片岡 藏之 議員

施政方針について



こちらから
動画が視聴できます

《町長》 新型コロナウイルスワクチンの接種率が県内上位

片岡 コロナ対策について、町長の所見は。

町長 本町における新型コロナウイルス感染症のワクチン接種率は、県内上位の接種率を達成している。茨城県内では唯一城里町だけが、1月31日までに高齢者福祉施設のワクチン接種を終えている。



片岡 茨城県中央

地域連携中枢都市圏という、水戸市を中心とした集まりがあるが、近隣自治体、常陸大宮市、那珂市、笠間市等には公共交通機関がなくなっている。

連携中枢都市圏の協定の中で、デマンドバスの相互乗り入れはできないのか。町長の所見と意見は。

町長 他市町村へのデマンド交通の乗り入れについて提案いただいたが、今後利用される方々の意見も聞きながら、デマンド交通の町外運行に向けて検討していく。



片岡 令和3年度の

補正の結果、6億円の財政基金への積立てを行えたところがある。

町長 令和4年3月の見込み段階で、基金、いわゆる貯金は、約61億円の残高になる事が見込まれている。

城里町結成以来、最大の貯金・基金の残高になっていきます。

片岡 町長が考える理想的な本町の財政規模は。
町長 令和4年度の一般会計予算は100億円である。毎年100億円位の予算を組んでも、急に財政が悪化したりする事はないと考える。

本町の農産物について

《町長》農業公社設立にむけて検討

片岡 コロナ禍の中で本町の農産物、一番問題なのはお米だと思う。ななかいの里について質問する。

町長 主食用米のブランド化に向けた取り組みなど、米作農家の所得向上を見据えた体制づくりが必要であると考え

る。
生産者を交えた勉強会などを開催して、農業公社の設立に向けての検討などもしていきたい。



社会福祉法人の漏水経緯



せいき せいいちろう 議員
関 誠一郎



こちらから
動画が視聴できます

《まちづくり戦略課長》

要綱のただし書きにより交付した

関 町が社会福祉法人の漏水を確認したのはいつか。

水道課長 水道課では、平成26年、28年、30年に施設に指摘し、令和3年に施設側からの相談によって、メーターの確認を行った。

関 なぜ町水道漏水認定減免基準を改正したのか。

副町長 施設側から報告があり、なにかしらの対応が出来ればという思いで改正した。

関 なぜ、社会福祉法人だけが該当するという基準の改正をしたのか。町民を無視する改正は許さない。

副町長 何か対応策を考えていく。



関 昨年、この社会福祉法人は、中小企業等固定費応援給付金で400万円を受給した。

この給付金は、コロナ対策で中小企業の光熱水費を支援するものだが、支給要件に該当するのか。

まちづくり戦略課長 中小企業には該当しないが、要綱の「町長が特に必要と認める場合に限り」というただし書きにより交付した。

関 要綱等にある「町長が認めるものについてこの限りではない」の要件は、町長が認めれば全てが通ってしまふ。

削除すべきである。

介護保険事業（還付金）

《町長》事実関係を確認する

関 介護保険料は死亡、転出等した

場合、保険料の還付が発生する。還付の事務の流れは。

長寿応援課長 死亡の方は相続人へ、転出の時は還付申請の手続きで対応している。

関 過年度361件、現年度28件の還付金が滞っている。なぜ、還付の事務を執行しなかったのか。

この事案は、町長として記者会見で謝罪すべきと思うが、**町長** 事実関係を確認して検討する。

訴訟等について町の対応は

《下水道課長》建設工事紛争審査会で審議中

関 業者、納税者等から訴訟等の問題が起きているが、

税務課、下水道課、町民課で該当はあるか。

審査中である。**町民課長** 訴訟等の問題はあったが、原告が取り下げて終了した。

税務課長 無い。**下水道課長** かつら水処理センターでの水害復旧工事で、建設工事紛争審査会で

今後、訴訟となりうる税務課のゴルフ場の過誤納付問題について、町の早急な対応を求め





ふじさく 藤咲 芙美子 議員

おくやみ専用窓口の設置について



こちらから動画が視聴できます

《町長》今年度、行財政改革懇談会に諮っていききたい

藤咲 ご遺族は看

取りに至る経過からその人の見送りにふさわしい、様々な社会的儀式を考え執り行っていく。喪失感と疲れの中にあっても、役所の手続きは行わなければならぬ。残された遺族に負担がかかっている。遺族が何か所で手続きできるような専用窓口の開設を早急に求める。

町民課長 県内先行事例である日立市を視察してきた。

町長 今年度、行財政改革懇談会に諮る会議費用を計上している。懇話会を設置し諮問する。



補聴器購入に補助を

《町長》近隣の動向を見極め検討する

藤咲 補聴器購入

に対し補助制度の創設を求める。高齢になると社会参加が阻害される。難聴により認知症になる人が増えている。補聴器が身体の一部となり日常生活になじむまで時間がかかる。その人の耳に合った補聴器にたどり着くまで大きな障壁がある。補聴器は高額であるため、我慢してしまうのが実態だ。一人ひとりが尊重され、いつまでも健康でいきいき過ごせるよう購入に対する補助を求める。

放課後児童デイサービスについて

《町長》七会診療所と話し合う

藤咲 放課後等児

童デイサービスは障害のある子どもたちを放課後及び夏休みや冬休みなどに、生活能力向上のため、訓練や社会との交流等の自立に向けた支援を継続的に行う事業だ。

この事業を行って、この事業者が陥っている困難に、町として支援する必要がある。医療機関との連携・協定が取りにくいのが現状だ。町で紹介することはできないか。

町長 七会診療所で良ければ、話し合ってみる。

放課後児童デイサービスについて

藤咲 放課後デ

イサービス利用者の、公民館の使用料を無料に出来ないか。また、廃校の体育館など無料で活用できるよう望む。

町長 常北小学校の体育館は、登録によって無料で使うことができる制度がある。



消防団関係について



さる た まさひろ
猿田 正純 議員



こちらから
動画が視聴できます

《総務課長》今後全団員にメール配信し、サイレンを吹鳴する

猿田 2月4日の

石塚地区建物火災の際に「石塚地内で火災が発生していません。安全な場所に避難して下さい。」と放送があったが、どこが火事で、どこが安全なのかわからない。

通報まで30〜40分かかっていることや、サイレンが鳴らなかった事にも、多くの町民が不信感を抱いているが。

総務課長 今後、防災行政無線でサイレンの吹鳴を実施する。また、出動指令メールを、全消防団員に配信できるようにする。

猿田 4月7日夜9時頃の増井の住宅火災時、町長は火災通報電話に出なかった。職員は深夜まで一生懸命対応していた。携帯を枕元に置いて寝ていると言っ

ている町長からの返信は無い。

町長は、消防団の幹部会で口は出すが現場には来ない。町長就任後、火災現場に来たのは1回のみ。

消防のトップとしての危機管理意識が全く感じられない。

決算審査意見書の扱いは

《総務課長》今後は正確を期し、速やかに監査委員に報告する

猿田 昨年12月の定例会で総務課長は「決算審査意見書は、議決対象になっていないと認識している。」と答弁した

総務課長 審査資料の位置づけだが、正しい決算、すべて正確を期し、修正が必要な時は監査委員に

猿田 水戸市ではAEDを24時間対応

のコンビニに設置導入したところ、救命率が大幅に上がった。

町でAED設置はできないか。

町長 コンビニの方々が研修を受けて、迅速に使える体制を整えば進めたい。

都市計画について

《町長》一日も早くできるよう働きかけを強めたい

猿田 国道123号線宝幢院坂下から石塚一本松までバイパスの説明会は30年前にされているが、一向に進まず話も出ない。

町が決めた計画道路の予定に掛かっている地権者は、宅地並みの固定資産税を長年支払い続けている。いつ出来るかわからない計画に今後からも支払い続けることになる。水道料金減免より、この宅地並み固定資産税の減免が優先と思うが。





さくらい かずこ 議員
桜井 和子

带状疱疹の予防について



こちらから
動画が視聴できます

《町長》 ワクチンの有効性の啓発周知に努める

桜井 带状疱疹は、子供の時感染した水ぼうそうのウイルスが原因で、50歳から80歳までに約3人に1人は発症する。

町長 带状疱疹ワクチンは、日本の厚生労働省により2016年に50歳以上の者に対する予防として効能効果が追記されたが、ワクチンの効果をどのように考えているか。

町長 米国の带状疱疹ワクチンの臨床試験において、50歳から60歳の7割で発症予防効果が認められており、接種から5年間、効果の持続が確認されたとの報告もある。ワクチン接種による带状疱疹予防は有効性があると考えている。

桜井 带状疱疹ワクチンがあることを知らない町民も多く見受けられる。ワクチンの周知と接種の推進はなされているか。

町長 予防のためのワクチン接種の有効性について、周知が十分だとは言えない。今後、ワクチンの有効性について広報紙等で啓発や周知に努めていく。



桜井 带状疱疹の発症率は60代から80歳代でピークを迎える。高齢になってからの痛みは苦痛である上、接種費用は生ワクチンで1回8千円程度、不活化ワクチンは2万円程度と高額である。町民の健康を守るため带状疱疹ワクチン接種に助成すべきと考えるが。

町長 茨城県で助成している市町村はないが、世の中の動向も踏まえ前向きに検討していく。

ゴミ袋の改善について

《町長》近隣の指定袋の材質を調査する

桜井 現在の燃えるゴミの指定袋は、目いっぱいゴミを入れると縦に破けてしまい使いづらいとの声が多く届いている。柔らかく使いやすいゴミ袋に改善できないか。

町長 来年度以降、近隣の指定袋の材質を調査し対応していく。



トイレの設置について

《町長》検討する

桜井 ホロルの湯グラウンドゴルフコースにはトイレがないため、グラウンドゴルフを楽しむ利用者が増えるに連れて、トイレの設置はできないか。

町長 検討する。



コロナ対策事業について



かとうぎ ただし 議員
加藤木 直



こちらから
動画が視聴できます

《農業政策課長》消費が落ち込んだ農畜産物の在庫を買い取った

加藤木 コロナ交付金は国からの補助率が100%と聞いていたが、一般財源が多く使われている事業があるのはなぜか。

まちづくり戦略課長 交付金は使い切ることを原則に、全ての事業において正確な支出が見込めないことから、一般財源を充当して計画したためである。

加藤木 農畜産物の生産継続支援事業の対象者、実績、さらに何件の生産農家を救済できたのか。

農業政策課長 農畜産物の消費が落ち込んだため、在庫を町が買い取り学校給食や認定こども園に提供した。食材は、キノコ、そば、牛肉、ブルーベリー、茶の5品目である。

加藤木 事業に該当しない方が対象となっていない様だが、特定の人が恩恵を受けるのは好ましくない。

元気アップ振興券、経済効果についても疑問だ。本当に困っている人に支援すべきだ。

加藤木 福祉施設が水道漏水を町から指摘されたが確認せず水道料を払い続け、施設側が漏水の原因がわかったときは、数年が経過していた。

町は福祉施設が中小企業に当たらないのにコロナ対策の「中小企業固定費応援給付金」を、2回支給した。

また、水道料金の減免規程を変更し、通常一か月分の減免を十二か月にする規程の変更をした。これは、町民に對

する背任行為ではないか。

町長 社会福祉法人から救済の相談があった。出してあげられない金額ではないので、私も後でシヨートステイとかデイスーパーでお世話になるかも知れない。

助けてあげること、経営を安定させ友好的な関係を築く事は重要な事だ。

加藤木 この様な事が、正当化されたら城里町に正義はない。職員皆さんは、町民のため正しい事務処理をして頂きたい。

【その他、次の質問がありました】

・本町の財政について

七会地区光ファイバ網整備更新について

《まちづくり戦略課長》比較検討はしていない

加藤木 昨年の当初予算で七会地区光ケーブル整備事業は、早急にやらなければいけないと言っていたが、今年の3月になって繰越明許とはどういうことか。二十年前の導入は、住民の安全と生活を守るための大義があった。今後は経費のかからないM-FTTに移行すべきではないのか。

まちづくり戦略課長 当時、国の交付を受け整備した。当時の施策としては良かったのではないかと。比較検討をしたのか。

加藤木 当時は画期的で良かったと思うが、二十年経てば時代が変わる。設備更新に当たり、検討

会や他の物との比較検討をしたのか。





たか 高橋 はし 裕子 議員

コロナウイルスへの対応について



こちらから動画が視聴できます

《健康保険課長》 医師に出張をお願いするのは難しい

高橋 町で検査から投薬まで、出張で行えないか。

健康保険課長 投薬までの時間がかかり大変な思いをしている方のお話を耳にする事は少なくない。検査や投薬には医師の指示が必要となり、町から出張をお願いするのは難しい状況。

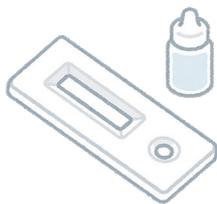
医療従事者の方々の努力により、診察は以前よりスムーズに対応が出来ている。

高橋 隔離後、必要な方に検査薬を提示する事は可能か。

健康保険課長 隔離後の出勤・通学に本人や職場、学校等でも不安を感じる方は少なからずいると考えるが、解除は、医療、保健関係者による健康状態の確認を経て行われる。解除には、証明書等を提

出する必要はないと厚生労働省から通知されている中、検査薬配布は、通知を否定することになりかねない。

高橋 深く理解し、考えられている事に安心する。またワクチン接種は、多くの職員が週末も協力されていることに関心から感謝している。



野良猫について

《町民課長》 広報やホームページに掲載回数を増やしたい

高橋 野良猫被害の話を目にする。広報では拝見したが、それ以外の町の対応を伺う。

町民課長 ペットの飼い方に関する啓発資料を窓口に配置しており、また、餌付け等の連絡を頂いた際は、事実確認を行い、現場での直接指導し、再発防止対策を行っている。今後は、広報への掲載回数を増やすことやホームページ掲載等を計画している。

高橋 避妊手術補助金の利用率、または町内の野良猫全頭手術が可能か伺う。

町民課長 猫の避妊・去勢手術については、補助制度を設けていない為、公益社団法人茨城県獣医師会が行っている補助制度を案内している状況である。令和三年度は、四件の利用実績があった。

高橋 ひかれていくのを目にする。猫は家の中で飼う事が世の中の流れになりつつある。町民の皆さんが、猫は家の中で飼うような意識になっってくれることを願う。



町の財政状況について



わたひき しずお
綿引 静男 議員



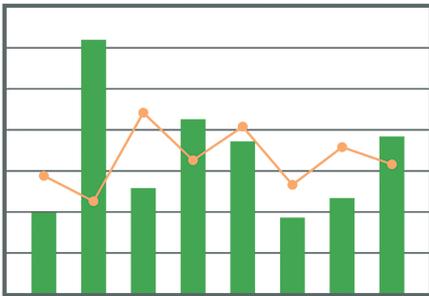
こちらから
動画が視聴できます

《町長》 財政は健全

綿引 町長の就任以来、城里町は歳入と歳出の総額及び主な項目の金額はどのように推移してきたか。

その結果、地方債と基金の残高はどのようにに推移したか。

町長 町の一般会計予算は100億円、特別会計を含めると180億円程度で推移。うち町民税や固定資産税などの基本的な税収は20億円、地方交付税は38億円。令和3年度末見込みで、地方債残高は221億円、基金は60億円。この8年間で借金を30億円以上減らし、貯金は5億円以上増やして堅実な財政運営を行い、着実に将来に対する負担を減らしてきた。



綿引 地方交付税の仕組みと見通しは。

町長 地方交付税とは、地方公共団体の財源の不均衡を調整し、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスを提供できるように財源を保障するための地方の固有財産。一定の計算根拠に基づいて国から交付されるものであり、近年は地域の元気創造や人口減少対策等の加算措置で微増傾向にある。



綿引 財政の健全性の測定方法にはどのようなものがあるか。また測定結果に基づいて、町の財政は「道の駅かつら」の建て替えなどの大型公共事業を行う体力を有するののか。

町長 財政の健全性の測定方法には、町の収入の何年分の借金があるかを計算した「将来負担比率」がある。国は、この比率が350%（町の収入の3.5年分の借金）を超える、財政の建て直しが必要であるとしている。城里町は合併後は130%ぐらいあったが、8年前は90%、現在は59%になり、財政が健全化してきたことから大型事業を行う体力を有する。

道の駅の大きな工事は、国の補助金等を活用して公共投資した環境センターや衛生センターの36億円よりずっと少ない金額を予定しており、お金の心配をして建て替えを諦める必要はない。



綿引 私の手元にある「関東道の駅スタンプブック」の最初に掲載されている「道の駅かつら」に、早くスタンプが押せるよう心待ちしていることを、最後に皆様にお伝えする。



みむら たかのぶ
三村 孝信 議員

選挙・投票率について



こちらから
動画が視聴できます

《町長》 しっかりと検討したい

三村 合併直後の、町議会議員選挙の投票率と投票所の数は。

総務課長 74・34%で、常北12、桂14、七会5の計31か所です。

三村 その後の町議会議員選挙の投票率の推移は。

総務課長 直近の3回は、61・60%、59・65%、55・81%、低下傾向にある。

三村 合併直後の投票所は31か所あったが、現在は14か所だ。七会地区は5か所から2か所に減っている。

今後高齢化が更に進むと、投票しなくても投票所まで行けない人が多数出てくるのではないか。投票所を増やす考えはないのか。

町長 貴重な提言だ。しっかりと検討したい。

三村 投票所を増やすのに、何か問題になっていることはあるか。

総務課長 投票所を増やせば投票率アップになると思うが、コロナ禍の中、職員の配置が問題になる。

三村 町長・町議選は期日前投票が4日間しかない。投票所まで行けない有権者には役場から出向いて投票してもらおうような事を考えてはどうか。

開発公社・(株)桂ふるさと振興センター・(株)物産センター山桜について

《町長》うぐいすの里で

一年を通じた「グランピング」を提案したい

三村 公社が行っている事業は。

まちづくり戦略課長 指定管理という事で「ホテルの湯」「藤井川ふれあいの里」「グリーン桂うぐいすの里」と「七会町民センター」のグラウンド関係がある。

三村 「うぐいすの里」については、昨年度の一般質問において、約800万の経費に対して収入が40万円前後だという事で、事業の継続は困難だと指摘したが、見直しをしたのか。

町長 なかなか収益が上がってないことについて申し訳なく思う。昨年度、ゴールデンウィークに実施したグラウンドにテントを張る「グランピング」が好評だったので、一年を通して使用を提案していききたい。

三村 その他の施設でも、無駄は無いのか、費用対効果の薄い事業が無いか精査して欲しい。



【その他、次の質問がありました】

・施政方針について